

同時資料提供
大阪科学・大学記者クラブ
大阪教育記者クラブ
南大阪記者クラブ
関西レジャー記者クラブ

新春ミニ展示「卯年展」を開催します ～ウサギにちなんだいろいろな生き物たち～

2023年（令和5年）は卯（うさぎ）年。令和5年1月5日（木）～1月29日（日）の間、博物館本館出入口付近の展示コーナーにて、毎年恒例の新春ミニ展示「干支」展を開催し、「うさぎ」にまつわる様々な標本を展示します。

■開催概要

1. 名称：新春ミニ展示「卯年展」～ウサギにちなんだいろいろな生き物たち～
2. 会期：令和5年1月5日（木）～1月29日（日）
3. 開館時間：午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）
4. 休館日：月曜日（ただし1月9日は開館）、1月10日（火）
5. 場所：大阪市立自然史博物館 本館1階 出入口付近
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23
TEL:06-6697-6221（代表） FAX:06-6697-6225
OsakaMetro御堂筋線「長居」駅下車3号出口・東へ800m
JR阪和線「長居」駅下車東出口・東へ1000m
ホームページ：<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>
6. 観覧料：常設展入館料（大人300円、高大生200円）
※中学生以下、障がい者手帳など持参者（介護者1名を含む）、大阪市内在住の65歳以上の方は無料（要証明）。30人以上の団体割引あり。

■主な展示

※これらの写真は広報目的でのみご利用いただけます。ご希望の方は、下記までお知らせください。



<ノウサギの頭骨>

ノウサギの頭骨。耳には骨がないので、骨にするとあまりウサギらしくありません。門歯（前歯）と臼歯（奥歯）の間に大きなすき間があるのは、シカやウマと共通の草食動物の特徴です。



<ノウサギの化石>

岐阜県郡上市八幡町の熊石洞からみつかったノウサギの上アゴと長い切歯（前歯）の化石です。時代は後期更新世（12万6000年前から1万1700年前まで）です。ウサギの前歯は長いですが、さらに長い歯根部分が骨に埋まっているのです。



<ウサギトラギス（ホカケトラギス科）>

ウサギトラギスは南日本～南シナ海北部の沿岸域に分布しています。第1背びれが長く、ウサギの耳のような印象を与えることから、この名が付けられました。写真の個体は日本初記録の標本で、1994年に兵庫県浜坂沖の水深約100メートルの砂底から底びき網によって漁獲されました。「ウサギトラギス」の和名は、この標本に基づいて提唱されたものです。ちなみに、背びれが長く伸びるのはオスの特徴で、メスでは背びれが伸びません。



<マルダイコクコガネ（コガネムシ科）>

奄美大島と徳之島の一部の山にのみ生息する珍しいコガネムシです。同じ島に分布するアマミノクロウサギの糞に集まります。アマミノクロウサギと同様、絶滅の恐れがある種としてレッドデータブックに掲載されています。写真は1974年に奄美大島の最高峰・湯湾岳で採集され、大阪市立自然史博物館に収蔵されたオスの標本を撮影したものです。



<ウミウサギ（ウミウサギガイ科）>

タカラガイに近い仲間の貝です。真っ白で光沢のある殻をもち、この姿が背中を丸めたウサギを連想させます。写真の左は背面、右は腹面から撮影しています。生きている時は腹面の殻口から外套膜を出して背面を覆いますが、外套膜の色は真っ黒です。この標本は沖縄県で採集されたものです。



<ウサギギク（キク科）>

日本では中部以北～北海道に生育するキク科の植物です。長く伸びた花茎の下方には、対になってついている長い葉があり、これをウサギの耳に見立ててこのような名前がつけました。花の色・形からキングルマという別名もあります。

■広報に関する問合せ

大阪市立自然史博物館 総務課 広報担当

TEL : 06-6697-6222 FAX : 06-6697-6225